

62 カンテンコケムシ

(ヒメテンコケムシ科)

兵庫県ランク:B

Asajirella gelatinosa

環境省ランク:指定なし

種の概要

関西以南のため池などの止水域に分布する。水中の沈水枝や岩礫、貝類の殻などに数個体または群生して付着し、ほとんど移動することはない。直径、高さともに3cmほどの半透明な寒天状の軟らかい外皮を有し、触手を伸ばして懸濁物を摂取する。触手は自ら動かすことなく、刺激を受けると収縮する。晩秋になると休芽を形成し死滅する。休芽は春になると発芽して群体を形成し、群体自体も分割し、増加する。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
				○			○

県内分布

神戸市、加古川市、三木市、姫路市、赤穂市、篠山市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。県内には無数のため池があるが、瀬戸内海斜面の6市で確認されているのみで既知産地は少ない。本種の種的(生活史)特性から、既知産地でも毎年発生するとも限らない。

保護上の留意点

丘陵地から低山地のため池でアオコが発生しないこと、水生植物で水面が被覆されないこと、コイが大量にいないこと、半透明な珪酸分の多い褐色を帯びた水質を維持することなどに配慮する。



【執筆者】 増田修